



相手を受け入れ、尊重する

人の考えや意見は多様です。多様な考えを受け入れ、他者を理解・尊重していくことは、社会を生きていく上で大切です。しかし個々の考えを批判し、態度や言葉で傷つけてしまうような場面が見られます。そんなとき、相手を受け入れ、尊重することが大切になります。自分とは異なる意見や立場でも広い心で受け止めて相手への理解を深めることで、自らを高めていくことができます。

また、他の人の過ちを責めすぎてしまうこともあります。こんなとき、謙虚な心・広い心で自分も同じように過ちを犯すことがあると考えることで、よりよい関係を築くことができます。

子供たちは、学校生活の中で様々な場面に遭遇します。そのとき、どんなことを考え、どう行動することが最善なのかを学校の教育活動全体、そして道徳科の授業で学びを深めています。

◎5年1組での『すれちがい(相互理解、寛容)』の授業の様子

※本時の学習は以下の視点で進めました。

- ・相手の立場を考えられる広い心をもつことの大切さに気付くこと。
- ・自分と異なる意見や立場を尊重することの大切さに気付くこと。

相互理解、寛容の目標

中学年・・・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。

高学年・・・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

※「相互理解、寛容」に関しては、中学年から学習する内容となっています。

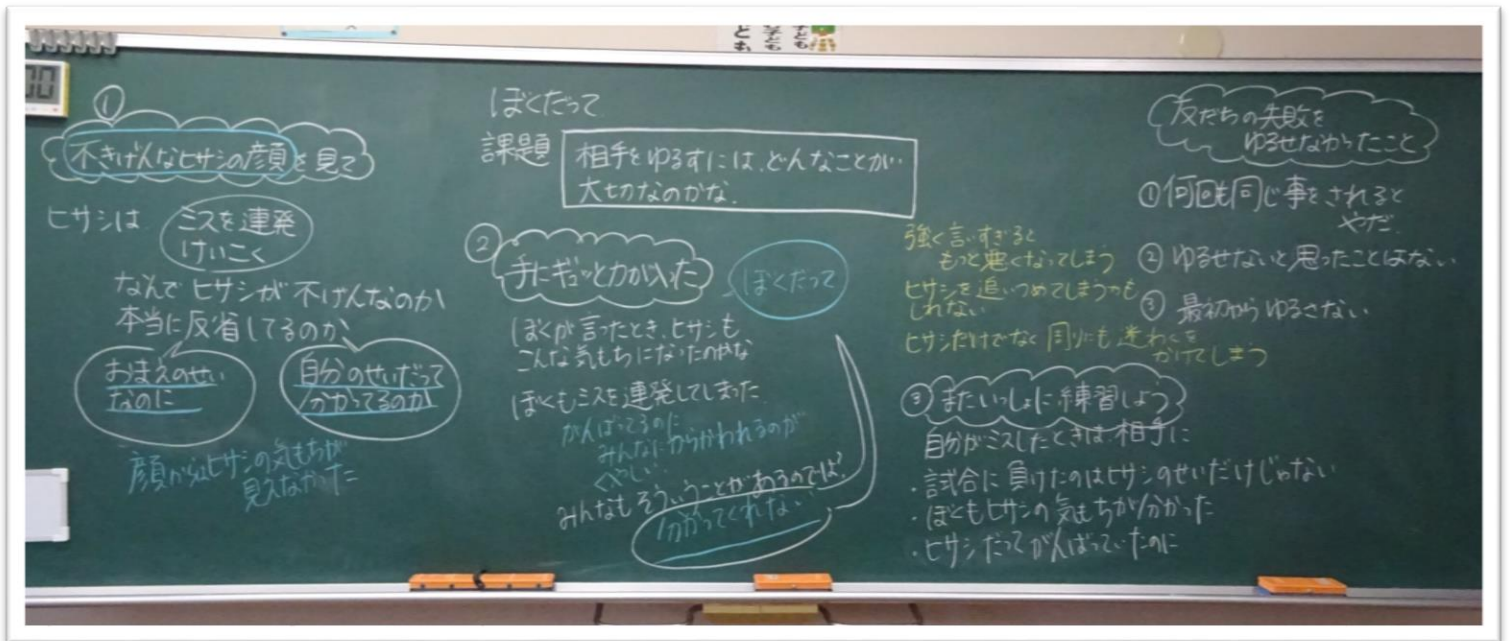


◎6年1組での『ぼくだって(相互理解、寛容)』の授業の様子

※本時の学習は以下の視点で進めました。

- ・相手の過ちに対して、自分にも同様のことがあるという謙虚な心に気付くこと。
- ・友達の気持ちや状況を理解し、相手を受け入れ、よりよい関係を築いていこうとする大切さに気付くこと。

※同じ項目ですが、5年生で行われた授業とは違う題材です。学年が上がるにつれ、発言内容や考えも深まります。



子供たちの気付き・ふりかえり

- ・相手の立場を考えていれば、仲良くなれる。自分も主人公と同じ状況になったことがあるが、このとき、相手の立場を考えて許せる気持ちがあればよかった。
- ・お互いに優しい心をもって、事情を話し合えば分かり合える。
- ・相手の立場を考え、互いのことを知ろうと思った。自分のことばかりではなく、相手のことも気にかかけられるようにしたい。
- ・すれちがい起きたときは、次どうすればいいか考えるといい。
- ・すれちがいでけんかをしてしまったときは、落ち着いて相手の話を聞く。そして、あやまる。自分だけでなく、相手のことを考えれば仲直りできると思う。